

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 25-4-002
補助事業名 平成25年度 被災地域および被災者受入地域における支援拠点
ネットワークづくり活動 補助事業
補助事業者名 特定非営利法人 動物愛護を考える茨城県民ネットワーク

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

震災によって家族と離れ離れになったペットを保護し家族に戻す。家族が不明な場合は、譲渡先を探す。また、避難先で飼えなくなったペットを預かる。

野良化したペット間に生まれた次世代以降の犬猫は、捕獲後避妊去勢し元に戻す（TNR、猫のみ）か、譲渡先を探す。これらの救済作業を、保護団体のネットワーク構築により、適正なルールのもと、住民や行政とのトラブル無く行う。また、エサ場での監視カメラ利用などによって事業の効率を上げ、ペット問題終息に見通しをつける。

(2) 実施内容

参照ホームページ：<http://www.capinew.jp/>



被災地に猫用の捕獲器を設置しているところ（富岡町）。



捕獲器に首輪をした猫が入った。いまだに震災時行方不明になった第一世代の猫が捕獲される（富岡町、3月）。



地元住民や愛護団体と共同で被災ペット救済について環境省に申し入れを実施した。



譲渡会の様子。捕獲後飼い主の分からないペットは新しい飼い主をさがす。



無人監視カメラに写った猫。この猫は耳カットしてあり、一度捕獲して不妊・去勢した後元に戻した（TNR）猫であることが分かる。この他、監視カメラを使うことで被災地におけるタヌキなどの状況も分かった。

2 予想される事業実施効果

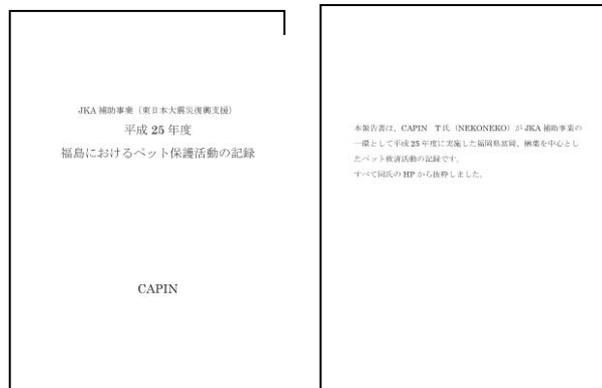
被災地に取り残されたペットが野良化して無制限に繁殖していくことを防ぎ、頭数をモニターしながらコントロールできている。これらのことを、地元ボランティアや愛護団体とネットワークを強化することによって分担してできるようになった。捕獲したペットのTNR、飼い主探しや新しい飼い主への譲渡も進んだ。

行政の手が回らないところを、われわれボランティアによって実施できた。

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

<http://kazenokitamiti.jimdo.com/富岡檜葉-h25年度活動記録/>



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 特定非営利法人 動物愛護を考える茨城県民ネットワーク
(トクテイヒエイリホウジン ドウブツアイゴヲカンガエル
イバラキケンミンネットワーク)

住 所： 〒305-0051
茨城県つくば市二の宮2-7-20

代 表 者： 理事長 坂本 真子美 (サカモト マコミ)

担 当 部 署： ー

担 当 者 名： 理事 松下 明行 (マツシタ アキユキ)

電 話 番 号： 080-1276-3676

F A X： 029-851-5586

U R L： <http://www.capinew.jp/>